	学校だより 第 8 号	啐（そつ）とは、鳥が卵からかえるとき、殻の中で雛が鳴くこと。啄（たく）とは、親鳥が外から殻をつつくこと。両者相呼応した、逃すべからざる好機をいう。当校では、啐啄の精神から大きな成果が生まれると考え、職員玄関に掲額している。
	令 和 5 年 1 2 月	
	上越市立城西中学校	

冬 来たりなば

校長 五十嵐 守男

生徒の皆さんへ

冬 来たりなば 春 遠からじ。

「つらい時期の向こうには、きっと幸せが待っているよ」という意味で、昔から使われている言葉です。

3年生は、卒業と、進路決定。1, 2年生も、一つ上の学年への進級。3年生は特にですが、限られた時間の中で、次のステップに向けての学習や準備をしなければなりません。「特別な春」に向けての「特別な冬」と言ってもいいでしょう。

時に辛い思いもするであろう冬。そんな時に、下の二つの言葉を思い出しながら、春に向かってくれたらと思います。



放課後、自主学习に取り組む3年生たち

自立している人は、実は上手に依存ができています。

まわりにいる人をよく観ると、「自立している人」というのは「まわりの人に上手に(適度に)依存できている人」だということがわかります。人は、いくつになっても、何かに、誰かに依存しながら生きています。私も、この年齢になりましたが、誰にも、何にも依存せずに生きられた時期は、ありません。

「ここは依存していいんだな」ということがわかったとき、「では、ここは自分の力で頑張ろう」と、自立へのアクセラが踏める、と言ってもよいかと。

「春」に向けての学習、準備。これは、他の人に頼めない、自分で取り組まなければならないことです。そのエネルギーをつくるためにも、上手な依存を考えてみてください。

学習の仕方について、アドバイスしてもらおうこと。しんどい思いを、大切な誰かに聞いてもらうこと。1日の中に、短くても、自分のためだけの時間をつくらせてもらうこと。上手な依存の仕方は、いろいろあるかと思えます。

特にこの季節。どうか、大変さを一人で抱えて、一人でつらくならないでください。あなたの周りには、あなたが依存できる人が、きっといますから。応援していますよ。

「愛ある批評」をしてくれる人を、大切に。

あなたのことを、どうでもいいと思っている人は、あなたに何も言いません。

あなたに、頑張ってもらいたい、成長してもらいたい、時間を上手に使ってもらいたい、いい春を迎えてほしいなどと願っている人が、あなたに意見を言ったり、批評をしたりします。そういう人こそを、大切にしてほしいのです。そういう人こそが、あなたを愛してくれている人ですから。

私も「愛ある批評」をしてくれる人を大事にするよう努めています。年齢を重ねたり、組織の中での役割が変わったりすると、だんだん、叱ってくれる人や意見を伝えてくれる人が少なくなってくる気がします。だからなおさら、意見や批評を伝えてくれる人が、とても大切に思えます。

例えば、学校全体のことを考えて、ご意見を伝えてくださる保護者の方や地域の方。

例えば、意見や情報を真剣に交わし合える、うちの職員や他校の校長。

例えば、「全校のために、こうしては。」と意見を伝えてくれる生徒の皆さん。

中学生の皆さんも、私たち大人も同じかと思えます。意見や批評を言い合わないのが信頼関係ではなくて、意見や批評を言い合っても崩れないのが信頼関係ですよ。

自分でもわかっていることをズバツと言われたりすると、腹の立つこともあるかと思えます。でも、そんな時は、自分にこう言い聞かせてください。

「愛ある批評をたくさんもらって、私は成長する」と。

城西中学校文化祭「^{せいかさい}西華祭」が行われました

城西中学校文化祭「西華祭」が11月29日（水）に行われました。この文化祭は、3人の3年生が「学年を超えて楽しめる一日をつくりたい」と校長室を訪れたことから始まりました。

スローガン『今しかできない青春を！』の下、生徒による主体的な準備と運営によって、午前には喫茶やゲームコーナーなどの17つのイベント、午後は劇やダンス、演奏など12のステージ発表がありました。また、制服を考えるブースや発表、広島平和記念式典に参加した さん(3年)による報告もありました。生徒たちは、各イベントを廻って学年をこえて触れ合ったり、ステージ発表でたくさんの拍手と声援を送ったりして、今を精一杯楽しんでいました。

当日は寒い一日ではありましたが、150名以上の保護者や地域の方々から生徒たちの活動を見守っていただきました。本当にありがとうございました。

【実行委員長 3年生 さん】

この数年間は、新型コロナウイルス感染に伴う制限のある中での学校生活でした。この制限が少しずつなくなり、当たり前前の生活が徐々に戻ってきた今だからこそ、全校生徒が楽しめる行事をつくろうと思い、『西華祭』を計画しました。一から行事をつくるため何をしたらいいのか分からず大変でしたが、実行委員、保護者・先生方のご協力のおかげで無事『西華祭』を行うことができました。『西華祭』を通して、新しいことに挑戦する楽しさや大変さなど、たくさんのお話を学ぶことができました。とてもよい経験ができました。



～イベントの部～



各イベントの見どころ発表



カフェ「メイド喫茶」



「バンド演奏」



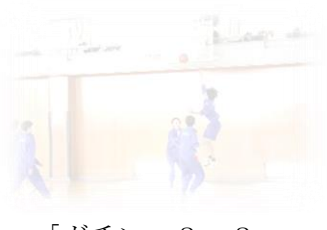
「ゲームコーナー」の一コマ



「スタンプラリー」



「PKチャレンジ」



「ガチンコ3on3」



「フォトスポット」



「えんにち」の一コマ



カフェ「ぼうずのもり」



「フォトスポット」



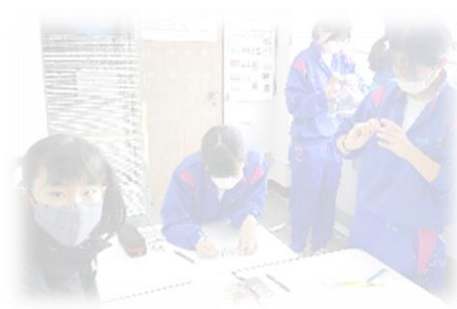
「ストライクアウト」



全校おにごっこ「逃走中」



「美術館」



「キーホルダーづくり」



「制服を考えよう」での試着



生徒玄関にはクレープ、ホットサンド、カレーライスのキッチンカーも登場



～ステージ発表の部～

発表（2組）・・・広島派遣の発表、制服について考えよう

劇（3組）・・・白雪ひめ、桃太郎、シンデレラ

ダンス（4組）・・・1年生男女と3年生男子のグループ、3年生男子ペア

3年生女子と1年生女子のペア、3年生女子と先生方のグループ

歌唱（3組）・・・3年生男子3名

演奏（2組）・・・3年生男子1名、吹奏楽部1・2年生

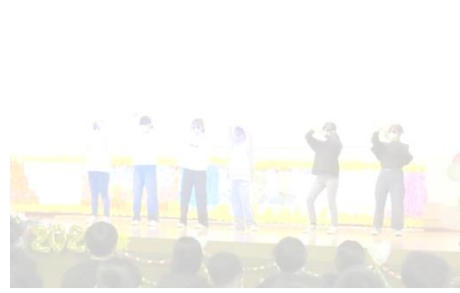
※写真は各部門より一コマを掲載



発表部門



劇部門



ダンス部門



歌唱部門



演奏部門



発表をみる生徒の様子

【部活動もがんばっています (新人戦後の成果)】

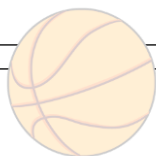
<男子バスケットボール部>

第 38 回 BSN 杯新潟県 U14

バスケットボール大会上越地区予選会

(12/2・3・9: 三和体育館、上越総合体育館)

第 3 位 (県大会出場決定)



<女子バスケットボール部>

第 38 回 BSN 杯新潟県 U14

バスケットボール大会上越地区予選会

(12/2・3・9: 清里スポーツセンター、上越総合体育館)

第 1 位 (県大会出場決定)

<吹奏楽部>

県アンサンブルコンテスト

(12/10: 上越文化会館)

金管 8 重奏 銅賞

木管 8 重奏 銀賞



<卓球部>

上越地区新人卓球大会

(11/3・5: 上越市総合体育館)

女子団体 優勝

女子個人 (2年) 3位

県新人卓球大会 (12/2: 小千谷市総合体育館)

女子団体 3位



<柔道部>

BSN 中学校柔道選手権大会

(11/3: 新潟市鳥屋野体育館)

女子団体 2位

新潟県中学校新人柔道体重別大会

(12/10: 新潟市鳥屋野体育館)

女子個人

体重別 1位 (1年)

体重別 5位 (1年)

体重別 3位 (2年)



人権について考える

11月21日(火)～12月11日(月)を人権教育強調旬間として位置付け、全校体制で取り組んできました。ねらいは、「人権を尊重する意欲や態度を育み、差別やいじめを生まない学校風土を醸成する」「部落問題の解消と差別のない社会の実現を目指す心情を育てる」です。そのために、今回は全クラスで人権教育教材「生きる」を使った部落問題学習を行いました。また、生徒会からの呼び掛けで、全クラスで安心できるクラスになるための具体的な取組について話し合いました。学級生徒一人一人が人権感覚を磨き、差別を許さず、自他を大切に行動できるように、今後も学級づくり、仲間づくりに取り組んでいきます。

1月の予定



5日(金) 3年生実力テスト

9日(火) 第5期開始、3学期始業式

15日(月) チャレンジテスト④(～22日)

19日(金) 専門委員会

23日(火) 3年生三者面談(～25日)

26日(金) 部活動停止(～30日)

30日(火) 後期定期テスト(～31日)

入学予定6年生児童保護者向け
学校説明会(30日、31日)

